

## 第7回日野合気道競技大会 種目詳細

日野大会実行委員会

第7回日野合気道競技大会における各種目について、下記の通り実施いたします。  
参加希望者は必ずご理解の上エントリーいただき、円滑な運営へのご協力をお願いいたします。

### 記

#### 1. 各競技詳細

##### ① 基礎技術審査部門

運足、手刀単独動作、受身など合気道の基本技術の正確性を競います。

##### \* 競技方法

- ・ 審判員3名が前に立ち、競技者2名はそれに向かって立ちます。
- ・ 競技者の最初の立ち位置は、あらかじめ指定した畳の十字線とします。
- ・ 主審の合図で競技を開始し、主審の号令に従って動作を行います。
- ・ 判定は3名の審判員の旗挙げによって行います。

##### \* 競技内容

##### A) 小学生低学年（1年生～3年生）の部

##### 準決勝まで

- ・ 運足（1セット）
- ・ 手刀動作3本目まで（一動作につき2セットずつ）

##### 決勝戦・3位決定戦

- ・ 運足（1セット）
- ・ 手刀動作3本目まで（一動作につき2セットずつ）
- ・ 後方受身立位から（5回）

##### B) 小学生高学年（4年生～6年生）の部

##### 準決勝まで

- ・ 運足（1セット）
- ・ 手刀動作5本目まで（一動作につき2セットずつ）

##### 決勝戦・3位決定戦

- ・ 基本運足（1セット）
- ・ 手刀動作5本目まで（一動作につき2セットずつ）
- ・ 前方回転受身立位から（左右2回）

※基本運足に関しては、主審の号令があってから動いてください。

※手刀動作に関しては、流れを止めないよう号令に合わせてるように動いてください。

### \*判定基準

基本運足…号令に瞬時に反応して移動し安定した自然体を作れるか。継ぎ足の速さ。

目付け、目線の安定。正しい足の位置、爪先の向き。正しい足の運び。正しい姿勢。

正しい手の位置（体側腰の辺りに備えて置かれているか）。態度の品格印象。

手刀動作…号令に合わせて流れるような正しい手刀動作ができるか。目付、目線の安定。

正しい手刀の張り方、動かし方。正しい足さばき、爪先の向き。正しい姿勢。

手刀と反対の手の位置（体側腰の辺りに備えて置かれているか）。態度の品格印象。

後方受身…号令がかかったら気を付けの姿勢から開始（片足を後ろに引かない）。

手を打つタイミング。手を打つ角度。頭の防護は常に確実か。

前方回転受身…手刀をしっかり張り、手刀に体重を乗せて滑らかに回転出来ているか。

回転の勢いと手で床を打つことで立ち上がられているか。まっすぐ回れているか。

佐藤忠之 JAA 師範による解説動画です。インターネットでご覧いただけます。

基礎技術審査部門

1) 運足 <http://youtu.be/BuevRMRBBps>

<http://youtu.be/3jZUKt1oSCE>

2) 手刀動作 <https://youtu.be/SFWjhNNPCXI>

<https://youtu.be/uDXhsxhQy8U>

3) 受け身 <https://youtu.be/yKktxsgbzfQ>

[https://youtu.be/vS-c\\_UqScbY](https://youtu.be/vS-c_UqScbY)

※応用運足は本大会の競技内容ではありません。

## ② 演武競技

\*競技内容

A) 小学生低学年（1年生～3年生）の部

乱取基本の形 17本 1本目～5本目

B) 小学生高学年（4年生～6年生）の部

乱取基本の形 17本 1本目～10本目

C) 中学生の部

乱取基本の形 17本 予選 1本目～10本目/3位決定戦・決勝 1本目～17本目

D) 高校生の部

乱取基本の形 17本 予選 1本目～10本目/3位決定戦・決勝 1本目～17本目

E) 一般無段の部

予選 乱取基本の形 17本 1本目～10本目/3位決定戦・決勝 1本目～17本目

F) 一般有段の部

古流第三の形 予選 半座半立技まで 8本/3位決定戦・決勝 座技～立技 16本

※「一般」：18歳以上（高校生を除く）。以下同じ。

※古流第三の形を除き、途中での受取交代は自由です。

※同じ区分でペアが組めない場合は上の区分に合わせてのエントリーとなります。

（例：小学生と中学生でペアを組んだ場合、中学生区分でのエントリーとなる。）

※判定は主審1名、副審2名の旗挙げ方式によって行います。

### ③ 乱取17本の形技能（短刀掛稽古競技）

- A) 中学生 男子の部/女子の部
- B) 高校生 男子の部/女子の部
- C) 一般無段 男子の部/女子の部
- D) 一般有段 男子の部/女子の部

#### \*競技方法

- ① 1対1の対戦形式で行います。
- ② A)中学生の部およびB)高校生の部は、怪我防止のため、予選は当身技5本及び隅落を禁止とします。準決勝以上は17本すべてで行います。
- ③ 主審の「始め」の号令で開始し、受け側は右構えからの右手での短刀突き、左構えからの左手での短刀突きを交互に行います。取り側はそれを手刀と運足を用いてさばき、乱取17本の形の技をかけます。右左計8本行います。
- ④ 判定は受け取り双方の技能を主審1名、副審2名の旗挙げ方式によって行います。

#### \*判定基準

以下を総合して判断します。

##### <取り側>

- ◆ 離隔の間合いを保っているか。
- ◆ 相手の攻撃を手刀と運足でさばけているか。
- ◆ 崩しをしているか、崩しから技がスムーズにつながっているか。
- ◆ 相手を怪我させることのない、合理的な技を施しているか。
- ◆ 残心（目付、姿勢、相手の制御）は正しいか。
- ◆ 相手の動きを見て位置取りができているか。
- ◆ 多様な技を掛けられているか。

##### <受け側>

原則として評価の対象とはしません。下記反則事項に該当する場合はマイナス評価となります。

#### \*反則事項

技能よりも以下の反則事項を判定基準として優先させます。

（①については、審判から口頭注意を行い、改まらない場合に反則行為として扱います）

- ① 受け側が取り側の評価を下げるような受けをすること。

（誤った間合いからの短刀突きを施す、相手の技に抵抗する、突いた後に逃げるなど）

② 怪我の危険のある技をかけること

(例：跳ね上げる下段当て。畳に叩きつけるような後ろ当て。)

\*評価の対象としない場合

① 小手返し、隅落し、引落しをかけられて飛び受身をしなかった場合。

取り側の技に応じて抵抗せずに身を守るための受身がとれていれば問題ありません。

② 受け側の攻撃が右→右と続いたために取り側が技をかけられなかった場合

正しい順番での攻撃に技をかけられなかった場合は取り側の減点となります。

いずれの場合も、主審が次の攻撃（右か左か）を決めて速やかに受け側に指示します。

#### ④ 奪取競技

A) 小学3・4年生 男子の部/女子の部

B) 小学5・6年生 男子の部/女子の部

\*競技内容

✓ 面奪取（上段）と脇差短刀奪取（下段）の奪取技を競う。

✓ 刀を用いた攻撃防御の剣道原理の競技。手刀打ち（面奪取）、手刀突き（脇差短刀奪取）の攻撃と手刀体捌きの防御を通して、体捌きの技術を追求し間合の取り方を養う。

\*競技ルール

• 40秒

• 三本勝負（二本先取制）

• 同点の場合は延長戦（20秒一本勝負）。

• 延長戦でも決着がつかない場合は僅差の判定によって勝負を決する。

※巣鴨学園の羽場逸夫先生が各クラブに競技ルール及び稽古法の説明に伺います。参加希望クラブはご連絡下さい。

#### ⑤ 短刀乱取競技

A) 一般 男子の部/女子の部

B) 一般 男子シニアの部/女子シニアの部（50歳以上）

\*競技ルール

日本合気道協会「合気道短刀乱取競技審判規程」に則って行います。

但し、時間は前後半各1分で行います。

## 2. その他諸注意

\*各種目、整列時にコートに来ていない選手については、1分間待ち、それでも来なかった場合は棄権扱いとなります。

\*有段者の選手には審判をお願いする場合があります。予めご了承下さい。

以上